

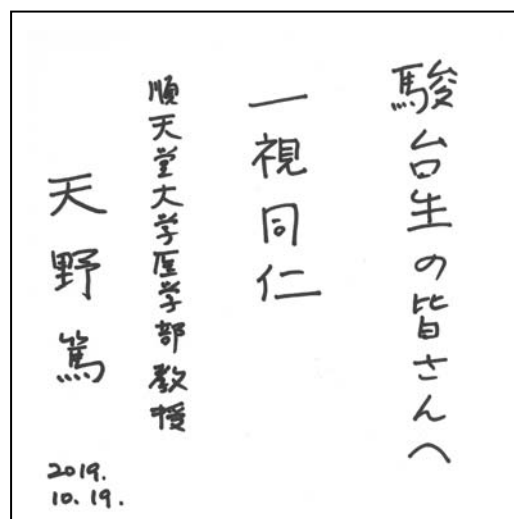
医師になるための覚悟と なってからの責任

講演者：順天堂大学医学部 順天堂大学大学院医学研究科
心臓血管外科学 主任教授

天野 篤 教授

市谷校舎では、順天堂大学医学部で活躍されている天野篤医師をお招きして、『医師になるための覚悟と、なってからの責任』をテーマに第3回医系特別講演会を実施しました。駿台OBでもある天野先生は、これまで8000例以上の手術を経験され、現在も日本を代表する医師の一人としてご活動されています。

講演では医師という職業には何が求められているのかについて、また医師になる人間がもつべき心構え、為すべき努力について、ご自身の経験を通じてお話しくださいました。参加者にとって、医師の仕事そのものを再認識し、医師になるためのモチベーションを高める貴重な講演となりました。



講演受講者から寄せられたメッセージを、一部抜粋で紹介いたします。

- ・医師を志す者としての心構えをもう一度固め直さなければいけないと強く思いました。
- ・テレビや新聞でしか見ることのできない医師の先生のお話を生で聞くことができ貴重な体験になりました。
- ・今、医学部に合格するために必死になって頑張っているが、医師になってからも患者の方々のために相当な努力をする覚悟と責任を強く感じました。
- ・医学部入学後の学習・生活についてデータを用いた根拠を示しながら、理想の医師像について詳細に話してくださいましたことがとてもうれしかった。モチベーションを大きく向上させるご講演をありがとうございました。
- ・日本のトップとして臨床・研究・教育に携わりながら、挑戦を続ける天野先生の姿を追いかけて頑張ります。
- ・死生観の話の中で「死を考えるのではなく、生をつくる」という言葉に感銘を受けました。
- ・医師としての自分を待っている人のために、今一度頑張ろうと思った印象深い講演でした。

■実施日：2019年10月19日(土) 10:00~11:30

■会場：駿台予備学校 市谷校舎(医学部専門校舎)